

## シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
国際経営特論	1・2年生	選択	2単位	小川 雄平
<p>授業の到達目標及びテーマ 著しくグローバル化した世界経済の実情について理解を深め、これに対応する企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。</p>				
<p>授業の概要 日本企業の海外進出の進展とそれに伴う企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状について解説し、為替レートの変動や急増する FTA 等国际経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。新聞報道から具体的な事例を取り上げてケーススタディを行う。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 日本的経営、日本企業の対外進出と空洞化</p> <p>第3回 企業経営の国際化Ⅰ：対米貿易摩擦・円高と輸出企業による生産基地の移転、</p> <p>第4回 企業経営の国際化Ⅱ：製造業企業による国際部品供給網の構築と国際分業の深化</p> <p>第5回 企業経営の国際化Ⅲ：対米貿易摩擦・生産コストの上昇と生産基地の再移転、</p> <p>第6回 企業経営の国際化Ⅳ：中間層の増大=消費市場としてのアジア、企業の現地化と M&amp;A</p> <p>第7回 企業経営の国際化Ⅴ：国際物流の進展とサプライチェーンマネジメント</p> <p>第8回 小括と討論</p> <p>第9回 貿易取引・決済の実際と外国為替の原理</p> <p>第10回 企業内貿易の実態Ⅰ：企業の多国籍化と企業内取引の実際</p> <p>第11回 企業内貿易の実態Ⅱ：タックス・ヘイブン(租税回避地)と移転価格税制</p> <p>第12回 小括と討論</p> <p>第13回 FTA と企業経営Ⅰ：日本の関税と FTA・EPA 戦略</p> <p>第14回 FTA と企業経営Ⅱ：メガ FTA(TPP11・EU 日・RCEP) と企業経営</p> <p>第15回 小括と討論</p> <p>第16回 まとめ</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習)</p> <p>事前学習：テキストの該当箇所及びプリントに目を通して疑問点を明確にしておくこと。(2.0h)</p> <p>事後学習：講義内容の復習と授業中に指示された課題に取り組むこと。(2.0h)</p>				
<p>テキスト</p> <p>小川雄平・猿渡剛編著『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社、2,500円 (ISBN978-4-502-35761-9)</p> <p>吉原英樹著『国際経営』第4版、有斐閣、2,000円 (ISBN978-4-641-22064-5)</p> <p>テキストの他にプリントも準備する。</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料等</p> <p>授業中に適宜指示する。</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>成績は、授業への取り組み (70%) とレポート (30%) で評価する。</p>				